2026 年 11 月 27 日
株式会社西武不動産ビルマネジメント

～ 火の恵みに感謝し、施設の安全と安心を未来につなぐ ～
設備の維持管理に関わる皆さまの無事故・無災害を祈念する行事
ボイラー祭（ふいご祭）に参加いたしました。

ホスピタリティを基盤に、施設管理・環境衛生・保安警備業務をワンストップで提供し、施設の「安全・安心・快適」を総合的に支えるビルマネジメント会社である株式会社西武不動産ビルマネジメント（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：徳永清久）は、品川プリンスホテルほか、各地のプリンスホテルの皆さまと、産業を支えるボイラーの恩恵に感謝し、設備の安全な運転と関係者の無事故・無災害を祈念する「ボイラー祭」に参加いたしました。
ボイラー祭は、古くから鍛冶職人など、火を扱う仕事に従事する人々の間で行われてきた「ふいご祭」の伝統があります。
「ふいご」とは、炉に風を送り、火力を高めるために用いられた道具です。ふいご祭では火の恵みや仕事を支える道具に感謝し、火災や事故のないこと、仕事の繁栄を祈ってまいりました。


品川プリンスホテルでの様子


グランドプリンスホテル新高輪での様子

ボイラー業界では、この伝統にちなむ 11 月 8 日を「ボイラーデー」としています。現代のボイラーはかつての炉やふいごとは構造も規模も異なりますが、熱を利用して人々の生活と産業を支えるという点で共通しています。火や熱の大きな力を役立てるのと同時に、その危険性を正しく理解し、安全に扱う姿勢は、次代を超えて受け継がれる大切な心構えです。
施設が毎日当たり前のように利用できるのは、点検や整備、運転監視、不具合への対応などを積み重ねる方々の尽力があるからであり、ボイラー祭は、その目立たなくとも欠かすことができない仕事の価値を再認識し、施設管理に関わる皆さまへの感謝と敬意を深める機会でもあります。

施設管理の分野にはボイラー祭のほかにも、安全や事業の継続を願うさまざまな神事や行事があります。
例えば、建物の建設時に行われる地鎮祭や、完成に際して行われる竣工祭は、工事の安全や建物の末永い安泰を祈るものです。また、施設や事業所によっては年の初めや設備の運転開始、改修工事などの節目に安全祈願祭を行い、関係者が心を一つにして無事故・無災害を願うところもあります。火を扱う設備に関連して、火災予防を願う神事もあります。
こうした神事に加え、防災訓練や消防訓練、安全大会、設備点検の講習なども施設の安全を守るための重要な行事です。火災予防運動や全国安全週間などの機会には日常の業務を見直し、緊急時の対応を確認しています。

西武不動産ビルマネジメントではボイラー祭を通じて、火と熱の恵みに感謝し、施設を支える皆さまの努力をたたえるとともに、関係者相互の親睦と連携を深めてまいります。そして、これまで培われてきた知識と技術、安全を大切にする心を未来につなぎ、安心して利用できる施設と持続可能な社会の実現を目指してまいります。

■株式会社西武不動産ビルマネジメントについて

当社はホスピタリティを基盤に、施設管理・環境衛生・保安警備業務をワンストップで提供し、施設の安心・安全・快適性を総合的に支えるビルマネジメント会社です。社内には 51 種の専門資格を持つ技術者が居り、高度な設備管理、清掃・警備を含む総合対応、来訪者対応まで含めたフロント機能により、施設価値と利用者満足の向上に寄与しています。西武不動産グループの「不動産事業 4 社体制」の一翼として建物の管理を担い、運営効率化に貢献。老朽化対策、防災・法令遵守、快適性向上ニーズの高まりを背景に、総合ビルマネジメントへの社会的需要が増す中、当社は多様な施設で培ったノウハウと高品質サービスを強みに、今後はグループ外施設へも価値提供を拡大し、新たな価値創造に取り組みます。

会 社 名：株式会社西武不動産ビルマネジメント
住　　所：東京都豊島区東池袋 3-1-5　サンシャインシティプリンスホテル 2F
設　　立：1983 年 9 月 1 日
資 本 金：3,000 万円
従業員数：565 名（2026 年 4 月 1 日現在）
事業内容：総合ビルマネジメント事業（施設・設備管理事業、環境衛生事業、保安警備事業）
H　　P：https://www.seiburealestate-bm.jp/

株式会社西武不動産ビルマネジメント　セールス＆マーケティング課
担当：奥山
Email： sbm_pract@seibugroup.jp
TEL：03-5924-6399　FAX：03-5924-6377